

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年12月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100243
法人名	社会福祉法人 真奉会
事業所名	グループホームあもり
所在地	鹿児島県霧島市隼人町内2075-2 〒899-5116 (電話) 0995-43-
自己評価作成日	令和6年9月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年11月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当法人は福祉事業を展開しており、隣接した場所に障害者支援事業のサービスがある。当事業所は霧島市の旧隼人町と旧溝辺町の境に近い場所にあり、遠くに霧島連山に仰ぐ景色の良い場所にある。また、鹿児島空港や嘉例川駅等の観光地・温泉地にもほど近い。事業所の理念として「ありのままのあなたを大切にします」と掲げており、利用者様が自分らしく、家庭的な雰囲気の中で穏やかに過ごせるように職員一人一人が意識して支援に取り組んでいます。年2回法人・グループホームでの取り組みや様子を伝える広報誌を発行し、ご家族や地域の方々への、認知症高齢者グループホームとしての取り組みについて協力等や関わり方を伝えている。特に力を入れているのは、食事面であり、調理職員担当者を配置し、美味しい匂いや調理の音も聞こえ、皆さんが手作りの食事を日々楽しみに生活している。地域とのかかわりについては、今年度は、新型コロナウイルス拡大防止の為外出行事等行うことが出来ず、家族との交流や面会についても、時間制限にて対応した。来年1月には、外国人の特定技能実習生の受け入れも決定しており、国際交流や文化交流も含め、研修にもしっかりと取り組んでいきたいと考えている。職員一人一人の質の向上や利用者様方・ご家族様へのサービスの向上についても満足度を上げていきたい。一人一人の利用者様の思いに寄り添い、少しでも長くグループホームでの生活が継続できるように取り組んでいきたい。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、霧島市隼人町の県道473号の崎森隼人線沿いの自然豊かな地区に平成18年に開設されている。同一敷地には法人系列の障害者支援事業のサービスがあり、法人本部も置かれ、情報共有等の協力体制が図られている。

「ありのままのあなたを大切にします」という理念の下に、地域や馴染みの方と共に、良好な人間関係の中で自分らしく楽しく過ごせるように、本人の思いを大切に支援に取り組んでいる。利用者一人ひとりに敬意をもって接し、思いを大切に傾聴・寄り添い等に努めた支援に取り組んでいる。

管理者および職員は、日頃から挨拶や感謝の言葉かけに努め、良好な人間関係を築いており、障害者や外国人の雇用に対するサポート体制も整備されている。管理者は職員から直接相談を受けることが多く、報告・連絡・相談の徹底を図り、何でも言い合える関係づくりに努め、職員の意欲向上に繋がるような職場環境づくりに取り組んでいる。

家族からは面会・電話・法人からの機関誌等を通して相談や意見等を気軽に述べてもらえるように工夫している。家族等との面会は予約制で15～20分間、面会室や居室で実施している。家族との受診や外食・買い物等を楽しみ、電話や手紙の取り次ぎ、携帯電話での会話、2～3か月毎の訪問美容など、家族の協力をもらいながら、これまでの繋がりや馴染みの関係が途切れないような支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念として、「ありのままのあなたで大切にします」と掲げ、入職時や毎月のミーティングで確認を行えている。	法人の理念と共にホームの理念を事務室と和室に掲示し、申し送りや全体ミーティングで振り返りを行って意義の理解を深め、意識付けを図っている。利用者一人ひとりに敬意をもって接し、思いを大切にして傾聴・寄り添い等に努め、言葉遣いには特に配慮して支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する施設として、ワークショップはやとがあり、実習の受け入れ・行事等共有しあえている。	自治会には加入していないが、近隣の散歩時に住民と挨拶を交わしたり、霧島市からの地域に関する情報をメールで得ている。放課後デイ、保育所の子供達との交流、隣接障害者施設の利用者との交流、ボランティアの随りの受け入れ等を行っていたが、現在は交流も持たなくなり、地域貢献の機会もなく、地域との繋がりが難しくなっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	以前まで運営推進会議で交流はあったが、コロナ禍というもあり地域の方々と集まるのが困難。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染防止で集まって会議をすることが困難。文書でのやり取りで意見交換を行っている。	コロナ禍以降、書面での会議に変更しており、家族代表、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員の意見等を貰って、2か月毎に議事録を作成している。令和7年からは出席での会議を開催予定である。入居者やホームの現状、行事、ヒヤリハット等について報告して意見を頂き、職員間でも共有して改善に努めるなど、具体的に日々のケアやサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>日頃から電話連絡・文書等での連携を図っている。問い合わせについても、その都度丁寧に伝える努力を行っている。</p>	<p>市役所支所の職員とはメールを中心に連携を図り、電話・Fax・窓口へ出向くこと等もあり、地域包括支援センターからは研修案内のメールが届くなど、日頃から行政職員とは協力関係を築いている。生活保護受給中の利用者の処遇に関する連携や、社協による金銭管理等が必要な利用者に関する連携等にも努め、指導・助言・提案等を頂いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>3ヶ月毎に身体拘束委員会を開催している。普段のケアで身体拘束になっていないか確認しながら取り組んでいる。</p>	<p>「身体的拘束等の適正化のための指針」を整備し、身体拘束委員会を3か月毎に開催している。研修は、アプリによるサポーターカレッジ(サボカレ)を導入し、計画的な研修の実施を通して全体ミーティング等で振り返りや意見交換を行って認識を共有している。玄関の施錠は夜間のみとし、外出を希望する利用者には見守りや声かけ・散歩に同行するなどして気持ちの安定を図り、自由な暮らしの支援に努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>3ヶ月に1回職員同士で会議開催し、職員同士で虐待とは何か考える機会を作っている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度に関して、不明な点がある為。職員全員が理解できるよう、勉強会を今後行っていきたい。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>丁寧に説明を行い、質問や疑問等についてはその都度対応を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族様とはこまめに連絡を取り合い、状況報告・相談事等対応を行っている。</p>	<p>利用者の思いや要望等は、日頃の会話・表情・仕草等で把握に努め、うまく伝えられない場合には家族からも情報を得ている。家族からは面会・電話・法人からの機関誌等を通して相談や意見等を気軽に述べてもらえるように工夫している。頂いた意見等は職員間で話し合い、検討して返答し、サービスの向上に繋げている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議・ミーティング等を通して職員とのコミュニケーションを図り意見を取り入れ工夫を行っている。</p>	<p>職員間の人間関係は良好で、日頃から挨拶や感謝の言葉かけに努め、障害者や外国人の雇用に対するサポート体制も整備されている。管理者は職員から直接相談を受けることが多く、報告・連絡・相談の徹底を図り、何でも言い合える関係づくりに努めている。希望休・有給休暇の取得、勤務交替、研修受講に対する法人からのバックアップ、資格手当の支給等にも対応して、職員の意欲向上に繋がるような職場環境づくりに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課制度を取り入れている。目標達成に向けた取り組みをし困っていること等ないか話している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月動画研修行い意見交換を行い、各自のスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修等で他施設との情報共有を行い、より良い施設づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>情報提供書だけではなく、直接お会いし不安に思っていること等傾聴している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>関係機関とも連携を図り、ご家族様の困りごと・不安なことに対して対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様が雰囲気になじめるかを確認する。その他の事業所との、比較を行ってもらっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>様々な場面で、しっかりと確認と同意を求め、本人の意志や気持ちを大切にケアに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会室を利用し面会時間を設け、ご家族様との面会を過ごしていただく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	イベントごとに雰囲気づくりを行い、ゆっくりと過ごして頂けるよう行っている。	家族・知人・友人との面会は要予約で15～20分間、面会室や居室で実施している。家族との受診や外食・買い物等を楽しみ、電話や手紙の取り次ぎ、携帯電話での会話、2～3か月毎の訪問美容、新聞・雑誌等の読書、趣味の踊り・編み物をされるなど、家族の協力をもらいながら、これまでの繋がりや馴染みの関係が途切れないような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性にも気を掛けながら、ホール席の配置換えも行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後のご家族様との連絡相談・不安の軽減を図る取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントだけでは分からない面もある為、ご家族様にも確認しご本人様の気持ちや意向をしっかりとくみ取る。	利用者についての情報は、ケアチェック表を活用して聴取し、日頃の会話や表情・仕草等からも思いを汲み取るように努めている。聞き取りにくい場合は筆談もあり、本人が何を望んでいるのかを把握して、本人の視点に立ったケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴・ご本人様の趣味について、ご家族様・ご本人様に確認しながら、ご本人様の暮らしの継続に取り組む。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御家族様に自宅での生活歴を確認して、できるだけご本人様の以前に近い様な生活サービス提供に努める。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族様との面談に時間を設け、職員同士からもケア方法を共有している。	本人及び家族の思いや意向を把握し、訪問診療時の主治医の指示、訪問看護・訪問歯科・薬剤師等からの意見、職員間の情報等を基に、モニタリングを3か月～6か月毎に実施して、6か月～1年毎に介護計画を作成している。利用者の楽しみごと(歌や踊り等)についても計画に反映させ、サービス担当者会議には本人や家族も出席して、本人が望む暮らしの実現に向けて検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々・夜間の様子をしっかりと記録に残し、日誌や申し送りノート等も活用しながら、情報共有にも努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人様の生活リズムやその人のペースに合わせたケアに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人様の状況に応じて、訪問散髪等取り入れている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>体調不良者いた場合医療機関に連絡行っている。月2回往診・他医療機関の受診等ご家族様の協力も得られている。</p>	<p>ホーム入居後は、利用者全員が協力医療機関をかかりつけ医としている。協力医療機関からの月2回の訪問診療、家族や職員の同伴による整形外科等の他科受診など、利用者毎の必要性に応じて支援している。訪問歯科診療は希望があれば受けることができる。夜間は24時間連携体制となっており、ホームの看護師を中心に連携を図りながら適切な医療が受けられるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日バイタルチェックを行い、日頃から健康管理に努めている。気になる点は、協力医療機関と連携している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医療機関との電話・FAXでの情報共有や相談も行っている。往診日には、短時間診察ではあるが、日々の健康維持に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、終末期の意志を事前確認している。状況が来た場合には、再度意向を確認して、ご家族様・ご本人様も含めて主治医と相談し対応している。	重度化した場合及び看取りにおける指針を整備し、事前確認書で意思確認も行いながら、「重度化した場合の介護についての同意書」について説明し、同意を得ている。家族の思いの変化や利用者の状況に応じて、可能な限り本人や家族の意向に沿った支援に努めており、ホームでの看取りを実施する体制である。しかし、事例がないため職員の研修等は行っておらず、今後は訪問看護と連携を図り、スキルアップのための研修を計画している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に対応できるように、マニュアルを準備している。AEDの使用方法についても、定期的に学ぶ機会を確保するようにする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>自施設だけではなく、今後は地域との協力体制が課題としてある。</p>	<p>BCP計画は法人において作成している。消防署の立ち会い1回を含めて年2回、昼夜想定災害訓練を実施している。地域住民への呼びかけは行わず、消防へは自動通報装置により、職員へは電話やLINEにより連絡体制が整備されている。備蓄は、米・水・レトルト食品・缶詰等をユニット毎に3日分程度確保し、カセットコンロ等も準備して、防災対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング・勉強会を通じてプライバシーの尊重・保護について、しっかりと大切にしていきたい。	「個人情報保護規定」をはじめ、倫理規定、利用者権利・倫理綱領等を整備し、機関誌やホームページへの掲載等についての同意も得ている。トイレ誘導、入浴介助、居室への入室、名字での呼称等のプライバシーに配慮した支援に努め、ケア会議や勉強会を通して職員の意識付けを図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からコミュニケーションを図り、レクリエーション・趣味を確認して、楽しめるような取り組みを行っている。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースに合わせた起床時間の対応・食事の時間提供を心掛けている。入浴はその日の体調を確認しながら実施している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	3ヶ月に1回訪問整容サービスを依頼している。起床後の洗面時にも髪を櫛でといて支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	イベントごとに弁当を注文し、四季を感じて頂く。調理職員担当を各棟配置し日々の食事に、工夫を凝らしている。	台所にある食材を用いて当日にメニューを決定し、週4～5日は調理担当職員が昼食と夕食を作り、他は職員が交替で調理している。行事食、誕生会でのリクエストメニュー、すいか割り、そうめん流し、ウッドデッキでのお茶会等、食べる楽しみを大切に支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分食事摂取状況の確認を行い、ご本人様のペースで食事時間・個別対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛け・介助を行い、歯科往診も取り入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できるだけトイレ誘導を心掛けている。夜間は、ご本人様の状況に応じてオムツ対応もしている。	利用者の心身の状況を把握し、排泄チェック表を活用して利用者毎の排泄リズムを考慮し、できるだけ同性介助で日中は可能な限りトイレでの排泄を支援している。トイレ誘導の際には近寄って小さな声で、また尿意のない方には時間を見て誘導するように努めている。殆どの利用者が下剤を使用しており、ヨーグルト・バナナ等の摂取、体操、散歩等に配慮して、個々に合わせた排泄の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、申し送り時排便状況の確認を行い、3日以上でない時は、看護師と相談し調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴拒否がある入居者様もいるため、声掛けを工夫しながら対応している。	入浴は、週1～2回、主に午前中に個浴で支援している。排泄等による汚染に対しては、シャワー浴や清拭等の衛生面に配慮して柔軟に対応している。入浴剤の使用やゆず湯等は行わず、入浴をためらう利用者には時間の変更や声かけのタイミング等を工夫して、気持ちよく入浴できるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に気を付けながら、午睡の時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報の確認・服薬のセットは、各棟看護師にて対応している。服薬管理については、誤薬防止で職員2人にてダブルチェックを実施している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーション・体操等入居者様が楽しめるような工夫をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍というもあり、室内での行事を主に行っている。	近隣の散歩や、コスモス見学、初詣、少人数でのドライブ、家族との受診や外食など、利用者の状況に応じて可能な限り楽しく外出できるように工夫して支援している。ホームの菜園はないが、園庭では桜の花見、プランターの花の水やり等の管理を行い、季節を感じたり楽しみが持てるような支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金の管理は基本にご家族様に任せてある。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	御家族様希望で、携帯電話を持っている入居者様がいるので、必要時は職員にて対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	同法人内で作成されたもの・施設内で作成した壁画を飾り、季節感を感じてもらうように取り組んでいる。	明るく、窓の多い広々としたホールには、職員と共に利用者がゆったりと過ごす風景があり、対面キッチン、畳スペース、ウッドデッキが設けられて、居心地よく過ごせるように工夫されている。ホールにはロフトがあり、手指消毒用品や災害用品の保管場所として活用されている。テレビ、ソファ、空気清浄機、加湿器等が配置され、送られてくる絵手紙や利用者の作品等が飾られて、利用者は好みの場所でゆっくりと寛いで過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	入居者様一人一人が穏やかに過ごせるよう、ソファの位置・和室をつかい過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室にご本人様の馴染みの物を置き、居心地の良い居室環境を提供している。	居室はフローリングの腰高窓仕様で、エアコン、ベッド、収納棚が備えられている。入口の表札はなく、番号表示とドアの色が異なっていることで利用者には自室がわかりやすく配慮されている。これまで馴染みとなっていた寝具、テレビ、ラジオ、写真、食器、編み物セット等を持ち込み、家庭的な雰囲気の中で憩える環境となるように支援している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室・共有部分は、動線を確保し障害物となりうるものは取り除いている。残存機能を活かし、自立した生活が送れるよう取り組んでいる。	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない